

大学院教務の現在地

主催：大学教務実践研究会 共催：東海国立大学機構名古屋大学高等教育研究センター 《質保証を担う中核教職員能力開発拠点》

2024年9月14日(土) 10:30-12:00

名古屋大学東山キャンパス文系総合館5階アクティブラーニング・スタジオ

宮林 常崇 氏

(東京都立大学理系管理課 課長 (学務課長兼務) / 公立大学協会事務局 参与)

大津 正知 氏

(茨城大学教学イノベーション機構 / 情報戦略機構 助教)



令和5年10月に設置された中央教育審議会大学分科会高等教育の在り方に関する特別部会をはじめ、様々な場で、研究力向上や国際化、リスキルといった視点から大学院教育の充実についての議論がなされています。こうしたなか、各大学の現場で大学院教育を支える事務職員のSDが早晩大きな課題となることが予想されます。

一方、大学院教育を支える教務は、どの大学も学部教育に比べて担当者が少なく、情報交換や能力開発の機会も多くありません。また、大学院生としての経験がない事務職員にとって、教員と共通認識をもつのに時間を要する業務であるという側面も、大学院教務の課題の1つと言えます。

こうした状況をふまえ、本プログラムでは、大学院教務を担う事務職員の皆さんと、その現在地を確認する作業を行いたいと考えています。具体的には、大学院教務が担う主な業務とその課題について講師による論点整理を行ったのち、参加者それぞれが大学院教務における実務上の課題を持ち寄り、グループに分かれて議論することで、それぞれの現場が抱える課題に取り組むための手がかりとします。

*** 事前課題があります**

- ・ 指定様式に大学院教務における実務上の課題を記載していただきます (所要1時間程度を想定)

■ 参加対象：大学職員

- ・ 経験年数は問いませんが、①大学院教務を担当した経験のあること、②事前課題に取り組むこと、の2点を要件とします。

■ 定員：20名

■ 参加費：無料

■ お申込み：https://kyoumujissen0914-1.peatix.com から9月9日(月)までにお申込み下さい。

- ・ お一人ずつの参加申し込みをお願いいたします (チケットの複数購入はできません)。
- ・ いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。
- ・ 名簿を配付します (所属大学・部署名・氏名のみ)。

お問い合わせ先 nagoya@kyoumujissenn.com (大学教務実践研究会)